

患者さんへ

疫学研究「病院外心停止患者に対する入電方法の違いによる予後調査の研究」

についての説明文書

1. この疫学研究の目的

病院外心停止症例は治療困難な病態の一つであり、救命率向上のため様々な研究がなされています。その中の一つに携帯電話と固定電話からの入電を比較した研究があり、携帯電話から入電があった群のほうが予後良好であったとの報告があります。携帯電話での入電の場合は通話しながら口頭指導を受け、患者の観察や胸骨圧迫などの処置が迅速にできるといったメリットがあります。しかし、入電と同時に発生場所が自動的に送られる固定電話と違い、携帯電話からの入電では発生場所の情報は通報者からの報告に依存することとなり、正確に伝わらない場合には救急車の到着が遅れ予後不良となる可能性があります。さらにこの研究は 2012-2014 年の研究であり、かつ携帯電話群の数が少ないといった特徴もあることから、現在とは状況が変化している可能性があります。

本研究では、携帯電話から入電があった群と固定電話から入電のあった群の神経学的予後を比較検討することを目的とします。

2. 疫学研究に参加していただく対象患者さんの疫学研究期間

2019 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日に神戸市消防局に入電があり、病院へ救急搬送された病院外心停止症例を対象とします。

3. 疫学研究の方法について

神戸市消防局から付与された病院外心停止患者のデータから対象患者を抽出します。年齢、性別、搬送日時、入電方法（携帯電話、固定電話）、発生場所、入電時刻、胸骨圧迫開始時刻、救急隊到着時刻、心電図初期波形、心停止の原因（心原性もしくは非心原性）、病院前処置（高度気道確保、静脈路確保、アドレナリン投与、AED 作動の有無）、病院到着時刻、病院到着時心拍再開の有無、入院 1 週間後神経学的評価、入院 1 ヶ月後神経学的評価、退院時神経学的評価を行います。

入電方法の違いにより携帯電話群と固定電話群とに分類し、神経学的予後を比較検討します。

4. 疫学研究への参加の自由と参加のとりやめについて

この疫学研究に参加するかしないかはあなたの自由意思によります。参加をお断りになられても、不利益を受けることはありません。たとえそれが疫学研究中であっても、あなたは

いつでも参加をやめることができます。その場合は担当医師に申し出てください。また、代諾者の方もあなたと同様に同意を撤回したり、中止の申し入れをしたりすることができます。

5.あなたの人権・プライバシーの保護について

この研究では、個人を特定できるような氏名・診療カード番号・住所などの個人情報は登録されておりません。また、人間関係や会話内容なども一切使用しません。ご心配な点がありましたら、下記当院担当科までお問い合わせください。

6.この研究に関連する危険性、健康被害について

この疫学研究は、神戸市消防局から付与された救急搬送患者のデータを用いるもので、患者さんへの危険性や健康被害が起こる可能性は、一切ありません。

7.費用の負担について

この疫学研究に参加することによる患者さんの費用負担は、一切ありません。

8.この疫学研究を担当する医師の氏名、連絡先

この疫学研究について分からないことやさらに詳しい説明が欲しい場合、気がかりなことがある場合は、いつでもご連絡ください。

疫学研究責任医師;

救急部

氏名; 西村 健 連絡先;078-241-3131